

# 社会医学講座

## 予防医学

### 著 書

- 1 榎垣靖樹：新版これであつくとく使えるスポーツサイエンス。31-32, 136-137, 140-141, 講談社。2007.

### 原 著

- 1 \*Inoue M, Wakai K, Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Tsuji I, Tsugane S: Alcohol drinking and total cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population. *Jpn. J. Clin. Oncol.* 37, 692-700. 2007.
- 2 \*森 満, 尚 爾華, 和泉比佐子, 坂内文男, 大西浩文, 長田好恵, 岡野五郎, 小林幸太, 榎垣靖樹：加速度センサー装置での身体活動量測定と身体活動と関連する要因の検討。北海道公衆衛生学雑誌 20：2, 72-77. 2007.
- 3 \*Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Nishino Y, Tsuji I, Wakai K, Inoue M, Tsugane S: Alcohol drinking and breast cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population. *Jpn. J. Clin. Oncol.* 37, 568-574. 2007.
- 4 \*The J-MICC Study Group (K. Tanaka is a member of the group): The Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort Study (J-MICC Study) to detect gene-environment interactions for cancer. *Asian Pac. J. Cancer Prev.* 8, 317-323. 2007.
- 5 Tanaka K, Hara M, Sakamoto T, Higaki Y, Mizuta T, Eguchi Y, Yasutake T, Ozaki I, Yamamoto K, Onohara S, Kawazoe S, Shigematsu H, Koizumi S: Inverse association between coffee drinking and the risk of hepatocellular carcinoma: a case-control study in Japan. *Cancer Sci.* 98, 214-218. 2007.
- 6 \*Wakai K, Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Nishino Y, Tsuji I, Inoue M, Tsugane S: Alcohol drinking and lung cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population. *Jpn. J. Clin. Oncol.* 37, 168-174. 2007.

### 総 説

- 1 田口尚人, 榎垣靖樹, 坂本龍彦, 田中恵太郎, 上川英樹, 八尋拓也, 和田 茂, 岩永真理子, 末次伊津子, 萩原里美, 古賀育子, 深川ゆきみ, 大坪博文, 大坪清史：産学官連携による健康づくり教室の開催事例。保健師ジャーナル 63：11, 1018-1024. 2007.

### 学会発表

#### 全国規模の学会

- 1 田中恵太郎：肝炎ウイルス対策と生活習慣改善による肝がん予防。第27回日本医学会総会（シンポジウム）。2007, 4, 6. 第27回日本医学会総会学術講演要旨集。
- 2 今泉 猛, 榎垣靖樹, 原めぐみ, 坂本龍彦, 田中恵太郎：CYP1A1 CYP1A2, CYP2A6, CYP2E1, GSTM1 and NAT2 polymorphisms and hepatocellular carcinoma: a case-control study. 第66回日本癌学会学術総会。2007, 10, 5. 第66回日本癌学会学術総会抄録集 514.
- 3 \*久野一恵, 相良朋子, 真名子香織, 荒尾恵介, 榎垣靖樹, 木村裕美, 田中恵太郎, 佐々木香苗, 松

元圭太郎：高齢者の低栄養予防に栄養補助食品は有効か？. 第61回日本栄養・食糧学会. 2007, 5, 20. 第61回日本栄養・食糧学会講演要旨集 135.

- 4 田口尚人, 桧垣靖樹, 田中恵太郎, 井上伸一, 木村裕美：軽度要介護者の運動トレーニングが身体機能及び QOL に及ぼす効果. 第17回日本疫学会学術総会. 2007, 1, 26. 第17回日本疫学会学術総会講演集 51.
- 5 原めぐみ, 桧垣靖樹, 坂本龍彦, 今泉 猛, 田口尚人, 堀田美加子, 新地浩一, 田中恵太郎：佐賀市における分子疫学研究：ベースライン調査参加率の検討. 第17回日本疫学会学術総会. 2007, 1, 27. 第17回日本疫学会学術総会講演集 274.
- 6 原めぐみ, 原田正平, 兼板佳孝, 谷畑健生：地方自治体での母子保健領域におけるたばこ対策に関する状況等の全国調査. 第66回日本公衆衛生学会総会. 2007, 10, 24. 第66回日本公衆衛生学会総会抄録集 54：10, 285.

#### 地方規模の学会

- 1 \*丸山悠司, 森村和浩, 平野雅巳, 高柳友香, 嶋田清美, 荒木聡一, 小田嶋博, 西間三馨, 桧垣靖樹, 中村有希子, 田中 守, 田中宏暁, 清永 明, 進藤宗洋：小児喘息患者における LTHR と運動様式の関係. 第56回九州体育・スポーツ学会. 2007. 九州体育・スポーツ学会抄録集 54.

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	田中恵太郎	科学研究費補助金	基盤研究(B)	生活習慣病の予防と遺伝子環境相互作用の解明を目指した大規模コホート研究の構築	9,230
教授	田中恵太郎	科学研究費補助金	特定領域研究 (分担)	分子疫学コホート研究の支援に関する研究	25,000
教授	田中恵太郎	厚生労働科学研究費補助金	肝炎等克服緊急対策研究事業 (分担)	C型肝炎の状況・長期予後の疫学像の解明に関する研究	10,000
教授	田中恵太郎	厚生労働科学研究費補助金	第3次対がん総合戦略研究事業 (分担)	生活習慣改善によるがん予防法の開発に関する研究	5,000
准教授	桧垣 靖樹	科学研究費補助金	基盤研究(C)	骨格筋糖取り込み機序における酸化ストレス及び筋収縮刺激の相互作用の解明	1,024
准教授	桧垣 靖樹	科学研究費補助金	基盤研究(B) (分担)	骨格筋のエネルギー代謝関連の遺伝的要因と運動適応能	800
助教	原 めぐみ	科学研究費補助金	若手研究(B)	地域住民の生活習慣, 身体活動量, 遺伝的素因と肥満, 糖尿病の関連についての疫学研究	1,700
助教	原 めぐみ	厚生労働科学研究費補助金	がん臨床研究事業	がん予防に資する未成年等における包括的たばこ対策に関する研究	20,750
助教	原 めぐみ	厚生労働科学研究費補助金	新興・再興感染症研究事業 (分担)	インフルエンザをはじめとした, 各種の予防接種の政策評価に関する分析疫学研究	1,000

## 環境医学

### 原 著

- 1 Ichiba M, Ogawa Y, Mohri I, Kondoh T, Horita M, Matsumoto A, Yoshida R, Matsumoto Y, Saito H, Ohba K, Yamashita Z, Tomokuni K: Analysis of urinary metabolites of polycyclic aromatic hydrocarbons in incineration workers. *J. Occup. Health.* 49, 159-164. 2007.
- 2 \*Matsuda T, Matsumoto A, Uchida M, Kanaly RA, Misaki K, Shibutani S, Kawamoto T, Kitagawa K, Nakayama KI, Tomokuni K, Ichiba M: Increased formation of hepatic N2-ethylidene-2'-deoxyguanosine DNA adducts in aldehyde dehydrogenase 2-knockout mice treated with ethanol. *Carcinogenesis.* 28, 2363-2366. 2007.
- 3 Matsumoto A, Ichiba M, Horita M, Yamashita Z, Takahashi T, Isse T, Oyama T, Kawamoto T, Tomokuni K: Lack of aldehyde dehydrogenase ameliorates oxidative stress induced by single-dose ethanol administration in mouse liver. *Alcohol.* 41, 57-59. 2007.
- 4 Matsumoto A, Kawamoto T, Horita M, Takahashi T, Isse T, Oyama T, Ichiba M: Single-dose ethanol administration downregulates expression of cytochrome p450 2E1 mRNA in aldehyde dehydrogenase 2 knockout mice. *Alcohol.* 41, 587-589. 2007.

### 総 説

- 1 彌富美奈子：「職場の環境をこう変えよう」～職場環境改善のためのヒント～ライン管理者を中心とした職場自主活動で健康リスク低減を実現。心とからだのオアシス 2：夏号，16-19，2007。
- 2 市場正良：過重労働対策。かささぎ 16，10-11，2007。

### 学会発表

#### 国際学会

- 1 \*Isse T, Kitagawa K, Matsuda T, Matsumoto A, Oyama T, Kawamoto T: ALDH2 transgenic knockout mice dislike alcohol drinking and receive more severe acetaldehyde toxicity. 11th congress of European Society for Biomedical Research on Alcoholism. 2007, 9, 23.
- 2 Matsumoto A, Ichiba M, Tomokuni K: Hepatocyte necrosis is inhibited in ethanol administered transgenic mice lacking aldehyde dehydrogenase 2 activity. the 8th International Symposium of Aldh2 Knockout Mouse Research. 2007, 1, 17.

#### 全国規模の学会

- 1 市場正良, 松本明子, 堀田美加子, 山下善功, 高橋達也, 小山倫浩, 川本俊弘, 友国勝麿：アルコールによる多環芳香族炭化水素DNA付加体形成への影響(3)－飲酒は発がんを促進するか. 第77回日本衛生学会. 2007, 3, 28. 日衛誌 62, 662.
- 2 彌富美奈子：企業におけるストレス対策の報告2. 第80回日本産業衛生学会. 2007, 4, 27. 産衛誌 49, 847.
- 3 彌富美奈子：シンポジウムⅣ－3 職場のメンタルヘルス：第一次予防の到達点と課題「職場環境の改善の効果と課題 企業の取り組み事例を通じての考察」. 第17回日本産業衛生学会産業医産業看護全国協議会. 2007, 11, 4. 日本産業衛生学会誌 講演集 77.
- 4 松本明子：飲酒が与える肝組織への影響における ALDH2 遺伝子多型の役割. 第42回日本アルコール・薬物医学会等合同学術総会. 2007, 9, 28. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 310-311.

- 5 松本明子, 市場正良, 堀田美加子, 山下善功, 一瀬豊日, 小山倫浩, 川本俊弘, 友国勝麿: Aldh2 ノックアウトマウスにおける CYP2E1 発現の検討. 第77回日本衛生学会. 2007, 3, 26. 日衛誌 62, 555.
- 6 \*小川康恭, 市場正良, 毛利一平, 吉田吏江, 斉藤宏之, 近藤敏弘, 山下善功: 清掃工場労働者において酸化ストレスレベルを高める要因は何か. 第80回日本産業衛生学会. 2007, 4, 27. 産衛誌 49, 837.
- 7 \*小山倫浩, 一瀬豊日, PhamThi Thu Phuong, 小川真規, 山口哲右, 木長 健, 松本明子, 市場正良, 櫻田尚樹, 川本俊弘: 喫煙者における気管支上皮内解毒酵素発現の網羅的解析. 第77回日本衛生学会. 2007, 3, 28. 日衛誌 62, 638.
- 8 \*渡辺良子, 河野久仁子, 木下直美, 三浦一美, 家永佐智子, 市場正良: 産業看護業務分析表の作成とその利用-佐賀県産業保健研究会の活動-. 第80回日本産業衛生学会. 2007, 4, 27. 産衛誌 49, 885.
- 9 山下善功, 山隈龍馬, 西村晃一, 高橋達也, 蒲池将史, 近藤敏弘, 上野大介, 市場正良, 宮島 徹, 友国勝麿: 佐賀環境フォーラムにおけるシックスクール問題への取り組み(3). 第77回日本衛生学会. 2007, 3, 28. 日衛誌 62, 584.

その他の学会等

- 1 彌富美奈子: シンポジウム 個人と組織を活性化させるメンタルヘルス対策の実際「積極的ストレスマネジメントを目的とした職場環境形成支援」. 第2回「こころの健康と経営戦略」フォーラム. 2007, 9, 22. 関西福祉科学大学 EAP 研究所紀要.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	市場正良	平成19年文部省科学研究費補助金	基盤研究(C)	アルコールは発がんを促進するか	1,170
助教	松本明子	平成19年文部省科学研究費補助金	若手研究(B)	アルデヒド脱水素酵素2遺伝子多型が飲酒による肝薬物代謝酵素活性の変動に及ぼす影響(遺伝子改変マウスを用いた検討)	700

法医学

原著

- 1 Kibayashi K, Sumida T, Shojo H, Hanada M: Dementing diseases among elderly persons who suffered fatal accidents: a forensic autopsy study. Am. J. Forensic Med. Pathol. 28: 1, 73-79. 2007.
- 2 Kibayashi K, Sumida T, Shojo H, Tokunaga O: Unexpected death due to intestinal obstruction by a duplication cyst in an infant. Forensic Sci. Int. 173: 2, 3, 175-177. 2007.
- 3 木林和彦: 頭部外傷例の検死について. 福岡県警察医会会報 16, 4-5, 2007.
- 4 木林和彦: 高齢者死亡事故予防のための事故発生現場環境の分析. 財団法人セコム科学技術振興財団研究報告集 26, 23-26, 2007.

- 5 木林和彦：ベッド上で生じる死亡事故の集計と予防方法の考案。財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団第17回研究助成・事業助成報告書 357-370, 2007.

#### 学会発表

##### 全国規模の学会

- 1 猩々英紀, 木林和彦：頭部外傷がアポトーシスに關与する遺伝子に及ぼす影響。第91次日本法医学会総会。2007, 5, 18. 日法医誌 61: 1, 72.

##### 地方規模の学会

- 1 猩々英紀, 木林和彦：脳挫傷により誘導されるアポトーシスの経時的解析。第57回日本法医学会九州地方会。2007, 10, 20. 要旨集 19.

##### その他の学会等

- 1 木林和彦：遊び行動に伴う死亡事故の要因解析と予防。財団法人中山隼雄科学技術文化財団第14回研究成果発表会。2007, 10, 23. 予稿集 15.

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	木林和彦	平成19年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究	溺水に特徴的な脳病理所見の実証研究	800
教授	木林和彦	平成19年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)	脳内異物による脳病態の解析を通じた法医神経病理学の展開	11,700
助教	猩々英紀	平成19年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(A)	頭部外傷によって発現が変動する遺伝子の経時的解析	13,650

#### 国際医療コミュニケーション科学分野

##### 著書

- 1 K. Preisendanz: Expanding and Merging Horizons. 303-313. Vienna 2007.

##### 原著

- 1 Kunio Harikai: The Mimamsa Interpretation of the Particle Hi in Brahmana Literature. Professor Halbfass Memorial Volume 303-313. 2007.
- 2 針貝邦生：タントラヴァールッティカ聖伝章和訳研究(6)。南アジア古典学 2, 81-100, 2007.
- 3 Kunio Harikai: Annual Report of Medical Anthropology and Humanity. Sanskrit text of the Tantravarttika, Adhyaya 1, Pada 2. 2, 1-69. 2007.
- 4 高野吾朗：映画から学ぶヒロシマの語り方～『二十四時間の情事』のテキスト分析を通して。原爆文学研究 6, 21-38, 2007.
- 5 Goro Takano: Review: Four from Japan: Contemporary Poetry and Essays by Women. Tin Fish Net (これは、インターネット上のみで公開されている雑誌媒体である：[http://www.tinfish-net.com/tinfish-net.html](http://www.tinfish-net.com/tin的角度.html)) 2007.

## 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
准教授	針貝 邦生	文部科学省科学研究費	基盤研究(C)	タントラヴァールuttiカ祭名章の研究	700
准教授	高野 吾朗	科学研究費補助金インセンティブ		創作された戦場—アメリカ文学の中のヴェトナム戦争	456
講師	ベンジャミン・エドワーズ	科学研究費補助金インセンティブ		Using New Techniques to provide effective English language learning	356
教授 准教授 講師 教務員	池田 豊子 高野 吾朗 ベンジャミン・エドワーズ 大坪 芳美	平成19年度佐賀大学中期計画実行経費	基盤教育研究 実行経費	校舎講義棟2階(第5講義室)及び(第6講義室)AV設備整備事業 (代表:池田 豊子)	2,713